

動画・AR 手順書システム



Dive



会社概要



会社名	エピソテック株式会社 Episotech Ltd.
所在地	東京都 杉並区 本天沼2丁目40-12
事業内容	現場教育DXを目的とした動画・AI・AR活用製品の企画・開発・提供
主要株主	創業メンバー、IFAC合同会社（福井コンピュータHDのCVC）
代表取締役	内藤 優太
第三者認証	ISO/IEC 27001 : 2022 (ISMS: 情報セキュリティマネジメントシステム)  MSCB-113  GIJP-1469-IC ISO/IEC 27001:2022

弊社が解決したい課題

現場系事業者・部門がもつ

**技術伝承へ動画を使いたい。
けど、編集時間がない。**

という課題

現場は今やるべきことで手一杯



動画は撮っても
マニュアル化に至らない

- 長尺 & 無編集なので、誰も見たがらない。
- 活用されないなので、推進者のモチベーションが維持できない。

動画・AR手順書システム Dive で解決！

撮影動画をアップロードして待つだけで **動画編集の9割完了**



動画撮影



アップロード



メール受信を待つ
(裏でAIが編集)



微調整

完成！



現場が忙しくても、動画マニュアル完成までもっていける！

作成できる動画マニュアルとサンプル

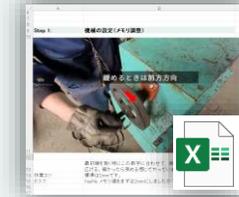
伝承に効果的な手順毎に分かれた動画手順マニュアル（＝動画手順書）が作成できます



様々なファイル出力にも対応



PDF



Excel

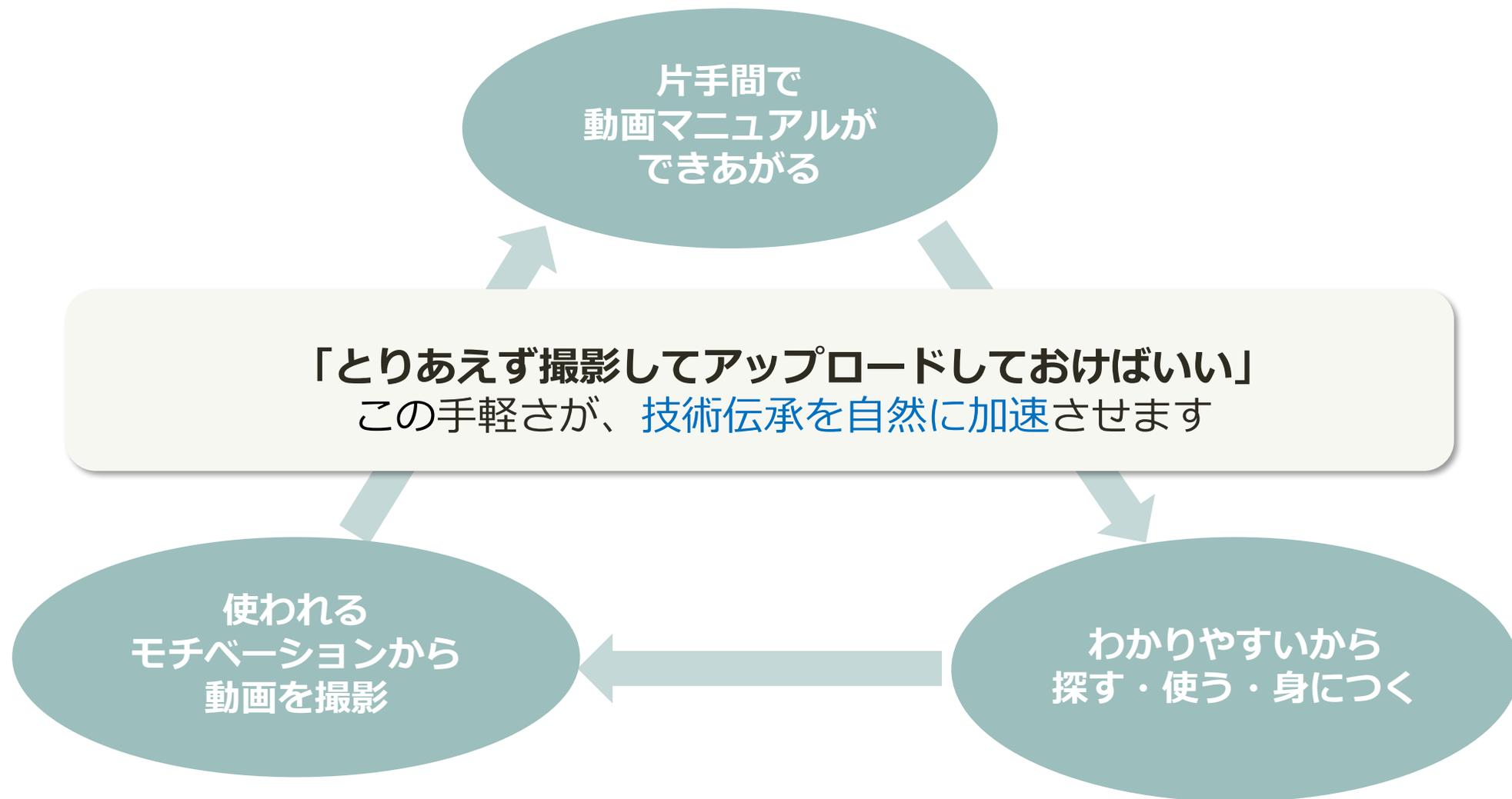


動画ファイル (.mp4)

<サンプル>

- ・ 調整なしで作成したもの
- ・ ブラッシュアップしたもの（動画組み合わせ、図形挿入、文章欄調整）

Dive導入でこう変わります



Diveとは？



Diveとは

現場作業特化型の 動画・AR手順書システム

KANEKA
カガクでネガイをカナエル会社

Sg logistics

相鉄企業株式会社
SOTETSU

FURUNO

株式会社 JAL グランドサービス

UNITIKA
We Realize It!

AKT/O

日鉄環境エネルギーソリューション
NIPPON STEEL ENVIRONMENTAL&ENERGY SOLUTIONS

...

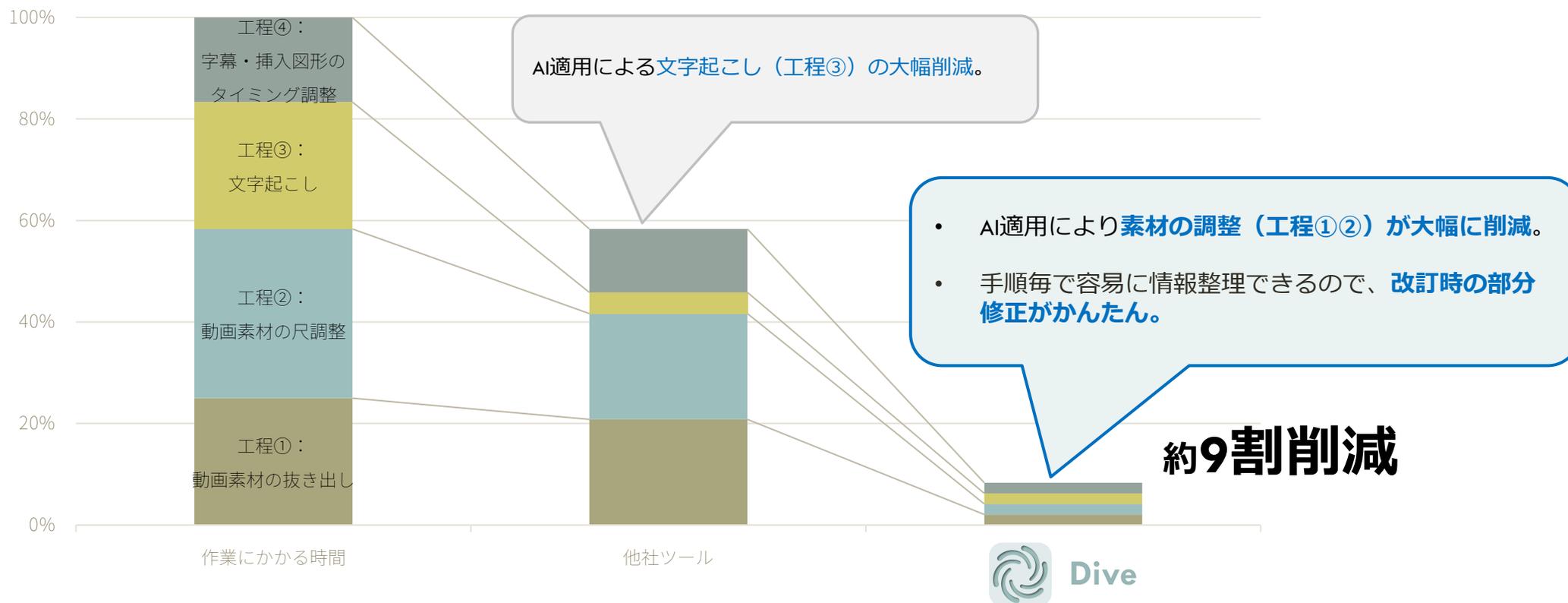


ASPIC
2023-2024
2024
総務省後援
ASPICクラウドアワード2024
ベンチャーグランプリ受賞

東京都後援
Tokyo Content/Solution
Business Award 2023
受賞

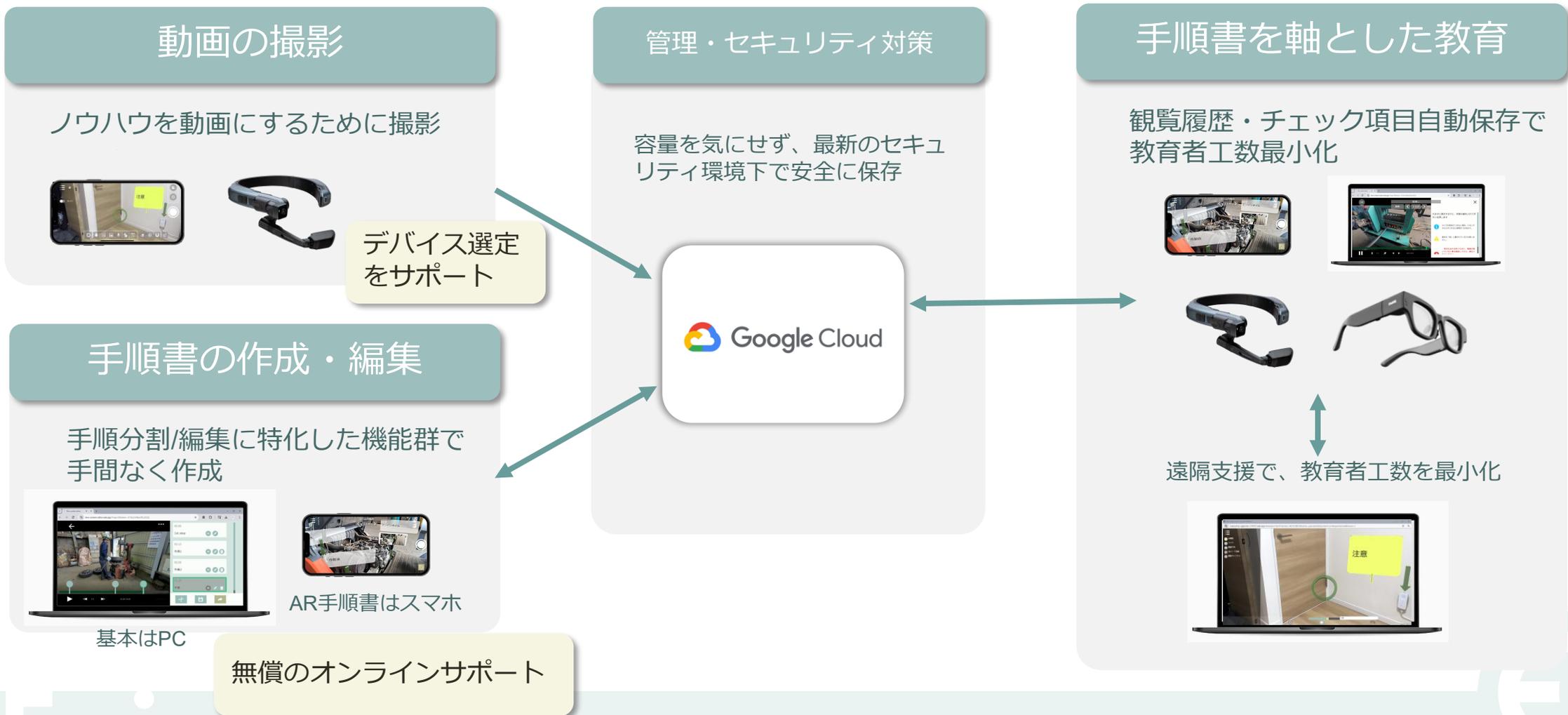
現場作業系の幅広い業種のお客様の教育課題を解決しています

強み



現場向け動画マニュアル作成・改訂の手間を大幅に低減できる

システム俯瞰図



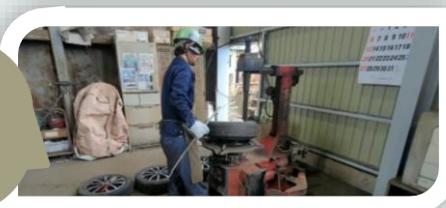
手軽作成を支える 機能群



メールを待って微調整だけ

- 動画アップロード後、**特許技術の手順分割特化AIが手順毎にシーン分け**
- **処理完了通知メールを待っていればOK**

動画内の人の動き・解説内容をもとに
特許技術のAIが自動で手順毎に分割



動画処理のAIは外部APIを使わず弊社管理サーバー内で実行。
ノウハウ動画が勝手に再学習されるなどのリスクを低減。

うるさい現場でも
文字おこししてくれる！



スマホからも可

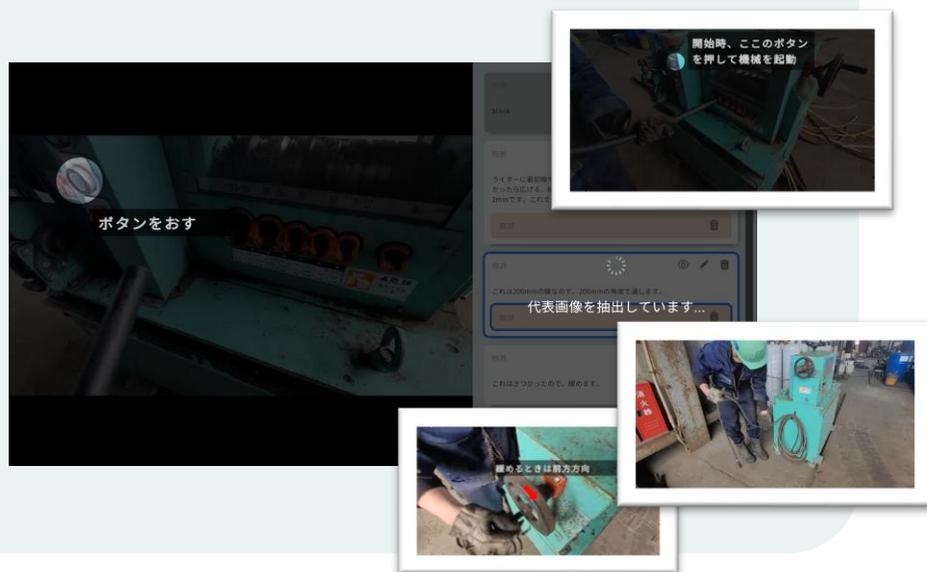


メール受信。
アプリ開いて、必要なシーン選んで終了

PDF/Excelにも出力

動画を流せない環境でも活用。直感的な「手順書」で技術伝承を推進。

動画編集内容をもとに
各手順の代表画像を自動抽出



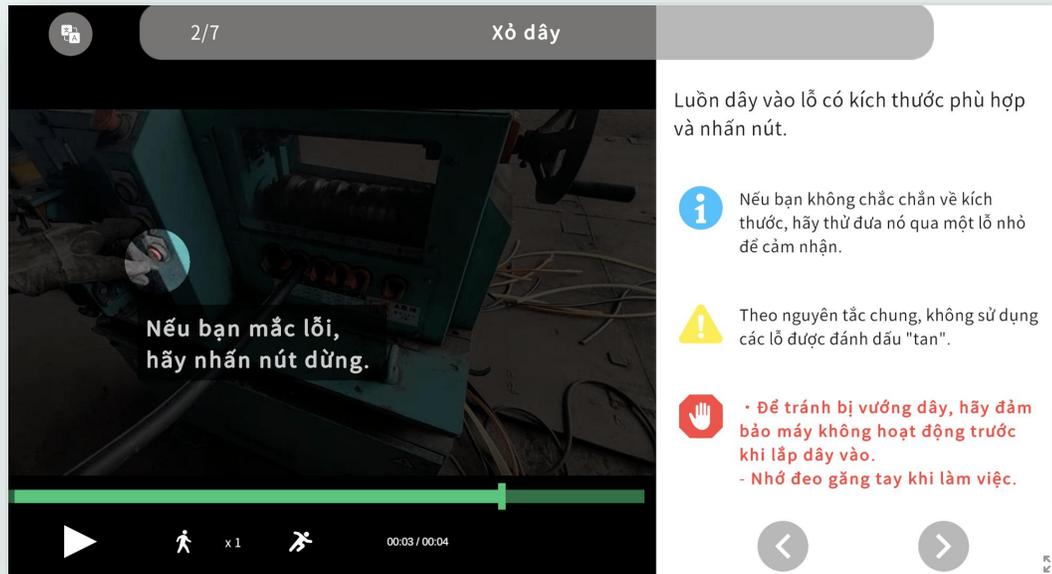
ファイル出力時、抽出された画像を使ってくれる



※お客様の手順書レイアウトに合わせたい場合は、お気軽にご相談ください

15ヶ国語の自動翻訳・翻訳用語集

多言語対応はAIにおまかせ。ユーザーが自国の言語を選べば自動翻訳。



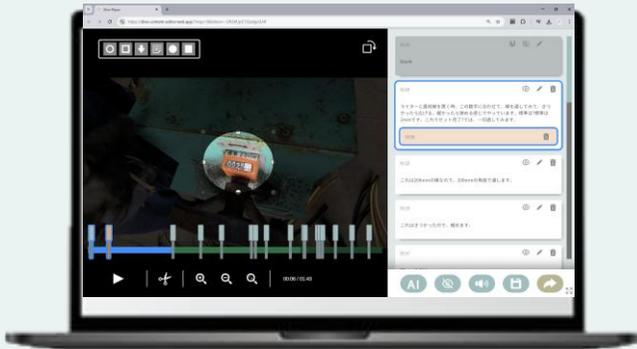
専門用語・製品名・企業特有の表現に対する用語集も用意可能。誤った翻訳になるリスクを低減可。

文章読み上げも可

簡単ブラッシュアップ

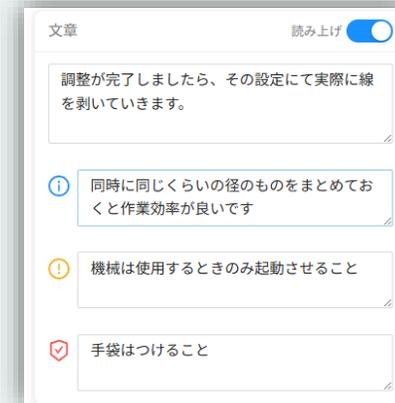
シンプルな編集機能で、誰でも手軽に。作成者によるバラつきも低減。

パワーポイントに近い操作感で注目ポイントへ挿入



- 丸、四角、矢印、テキスト、スポットライト、画像を挿入可能
- 挿入タイミングで動画が一時停止

文章欄はフォーマットに沿って入力するだけ



作業のコツ、安全上の重要事項、注意事項という入力欄が各手順で設けられている

生成AIによる手順提案

どんな動画をとればいいのか？そんな時は**生成AIを使って手順の型を用意**

どんな手順を追加したいかをAIに相談

挿入したい手順のイメージを入力

挿入したい手順の内容やポイント、要望などを記載してください(最大100文字)

XXXメーカーの剥離機の片付け方を追加で構築したいです。使う際、安全が重要で、ケガしないように必ず手袋をつけながら作業、そして終了時に電源をOFFにする必要があります。]

出力する手順数

1 3 5 7 10

手順を生成

生成AIが手順内容を提案

AI生成プレビュー

剥離機片付け手順

XXXメーカーの剥離機の安全な片付け方法です。手袋着用と電源OFFを徹底してください。

手順1: 作業前の準備
作業開始前に手順を確認し、安全確認を行います。
作業のコツ: 手順をOFFすることで作業ができます。
注意事項: 電気が安全に切れていることを確認してください。
安全上の重要事項: 安全のため必ず手袋を着用してください。
タスク情報: Yes/No選択 タスク内容: 手順を確認し、安全確認をしますか?
選択: Yes / No

手順2: 剥離機の片付け
剥離機のケーブルや部品を整理し、所定の場所に収納します。
作業のコツ: 汚れや油汚れがないか確認しながら作業をします。
注意事項: 汚れや油汚れがないか確認してください。
安全上の重要事項: 安全のため必ず手袋を着用してください。
タスク情報: Yes/No選択 タスク内容: 全ての作業が完了し、収納していますか?
選択: Yes / No

手順3: 電源の確認
全ての部品とケーブルが正しく収納されているか確認します。
作業のコツ: 整理整頓を心がけ、安全に作業をします。
注意事項: 汚れや油汚れがないか確認してください。
安全上の重要事項: 安全のため必ず手袋を着用してください。
タスク情報: Yes/No選択 タスク内容: 全ての作業が完了し、収納していますか?
選択: Yes / No

この内容で決定

あとは出力された各手順に動画を割り付けるだけ

手順1: 作業前の準備

手順2: 電源の確認

手順3: 剥離機の片付け

手順4: 最終確認

手順5: 電源の再確認と終了

手順6: 作業の完了

Step 1: 作業前の準備

コンテンプ

文章

作業開始前に手順を確認し、安全確認を行います。

所望の区切り範囲を選択し、保存ボタンで確定してください。

OK

AI

AR：ハンズフリー撮影

専用アプリで、**主観ノウハウ動画をすぐアップロード可能**



Vuzix M400



Vuzix M4000



RealWear Navigator



INMO Air2



J7EF

※視線を動画として撮影可能 (参考動画)

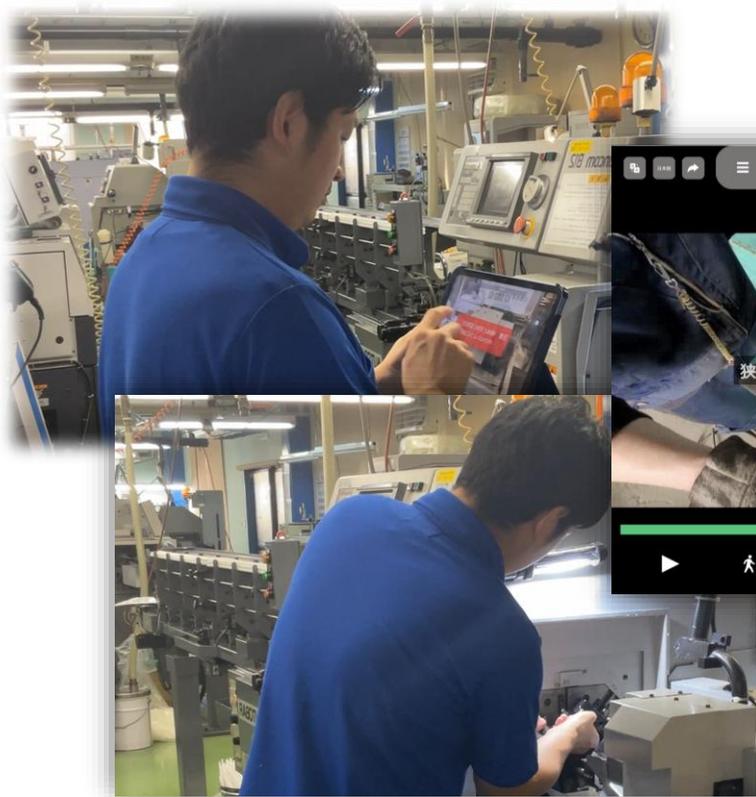
- スマートグラスは撮影時にどこを撮影しているかリアルタイムにモニタリングできるため、撮影の後戻りを低減しつつ、最小工数で動画撮影できます。
- 弊社アプリを使うことで、撮影した動画をPCなどにUSB接続せずとも、シームレスにシステムへアップロードできます。

現場特化の機能群で 「しっかり伝承」



手順毎に確実に追える

自分のペースで手順毎の動画・文章を参照。理解しながら実践するから身につく。



実際の画面



タスク項目を設定しておけば、手順飛ばしも防げたり、アウトプットを促し更なる効果向上が狙えます

検索で手順書がすぐ見つかる

動画内テキスト含む全ての文章から検索が可能、すぐアクセス

検索したキーワードを入力



Webアプリを開くとすぐ検索画面



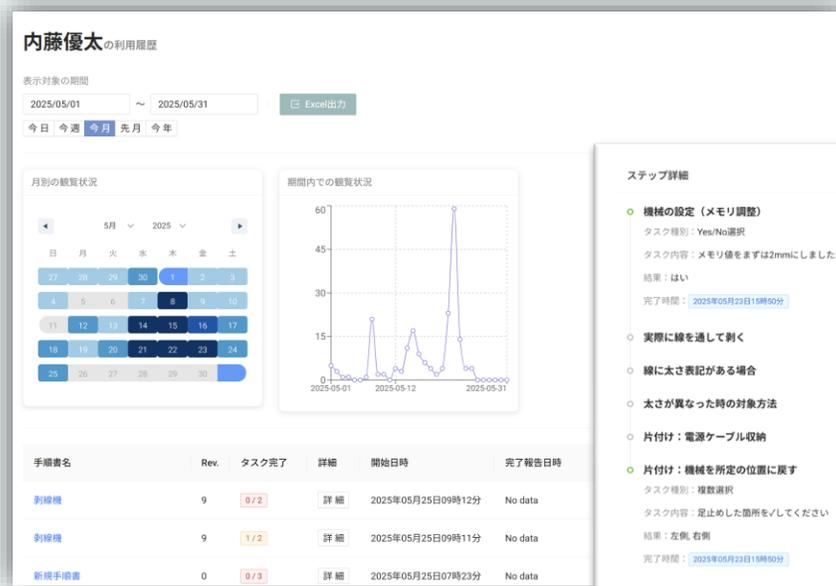
検索結果が出力



作成時にわざわざタグづけをするといった手間を省ける面でも◎

利用状況がわかる

利用履歴はアカウント毎に自動集計。アウトプット結果が直感的に確認可。



手順書名	Rev.	タスク完了	開始日時	完了報告日時
刺線機	9	0 / 2	2025年05月25日11時13分	データなし
刺線機	9	0 / 2	2025年05月25日09時12分	データなし
刺線機	9	1 / 2	2025年05月25日09時11分	データなし
新規手順書	0	0 / 3	2025年05月25日07時23分	データなし
ホットケーキの作り方	0	3 / 4	2025年05月25日05時30分	データなし
刺線機	9	1 / 2	2025年05月24日17時17分	2025年05月24日17時18分
刺線機	9	0 / 2	2025年05月24日17時16分	データなし
刺線機-フォルダアクセスユーザー	0	0 / 1	2025年05月24日17時13分	データなし
新規手順書	0	タスク無し	2025年05月24日11時49分	データなし
刺線機	9	1 / 2	2025年05月23日16時27分	データなし
配置シミュレーションデモ	0	タスク無し	2025年05月23日16時22分	データなし
スキャンアプリ使い方	0	タスク無し	2025年05月23日16時21分	データなし
刺線機	9	2 / 2	2025年05月23日15時50分	2025年05月23日15時50分
刺線機	9	1 / 2	2025年05月23日15時42分	データなし
刺線機	9	0 / 2	2025年05月23日14時20分	データなし
刺線機	9	0 / 2	2025年05月23日14時20分	データなし
From Video - 20250522085246971C0	1	1 / 1	2025年05月23日12時04分	データなし
From Video - 20250522085246971C0	0	0 / 1	2025年05月23日12時04分	データなし
From Video - 20250522085246971C0	0	タスク無し	2025年05月23日12時04分	データなし
From Video - 20250522085246971C0	0	タスク無し	2025年05月23日11時38分	データなし
From Video - 20250522085246971C0	0	タスク無し	2025年05月23日11時38分	データなし
刺線機	9	1 / 2	2025年05月23日08時06分	データなし

エクセル出力し、監査対応にも◎

AR : ハンズフリー観覧

スマートグラスを使って、**現場で手を動かしながら観覧**。音声操作も可能。



INMO Air2



dynaEdge XR1



Vuzix M400



Vuzix M4000



XREAL Air 2 Ultra



RealWear Navigator



RayNeo X2



J7EF



使用の様子



HoloLens 2



XrealLight



ThinkReality A3

過去にサポートしていたデバイス

AR : 3D技術で現場の理解を加速

体験型マニュアルで「記憶に刻む」

* 頻度は少ないが一度で記憶してほしい、安全教育等におすすめ。

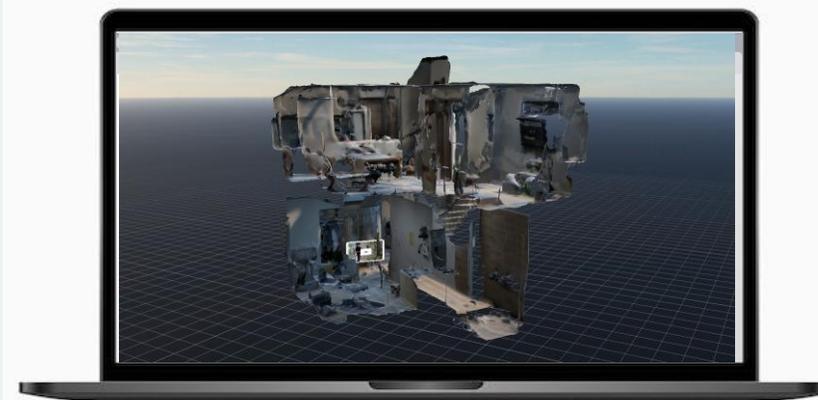
「現場確認」をレベルアップ



<https://www.youtube.com/watch?v=0vx67DG8GW0>

- 空間認識ARで場所・箇所が直感的に理解できる
- スマホアプリのみで構築できる

「事前確認」をレベルアップ



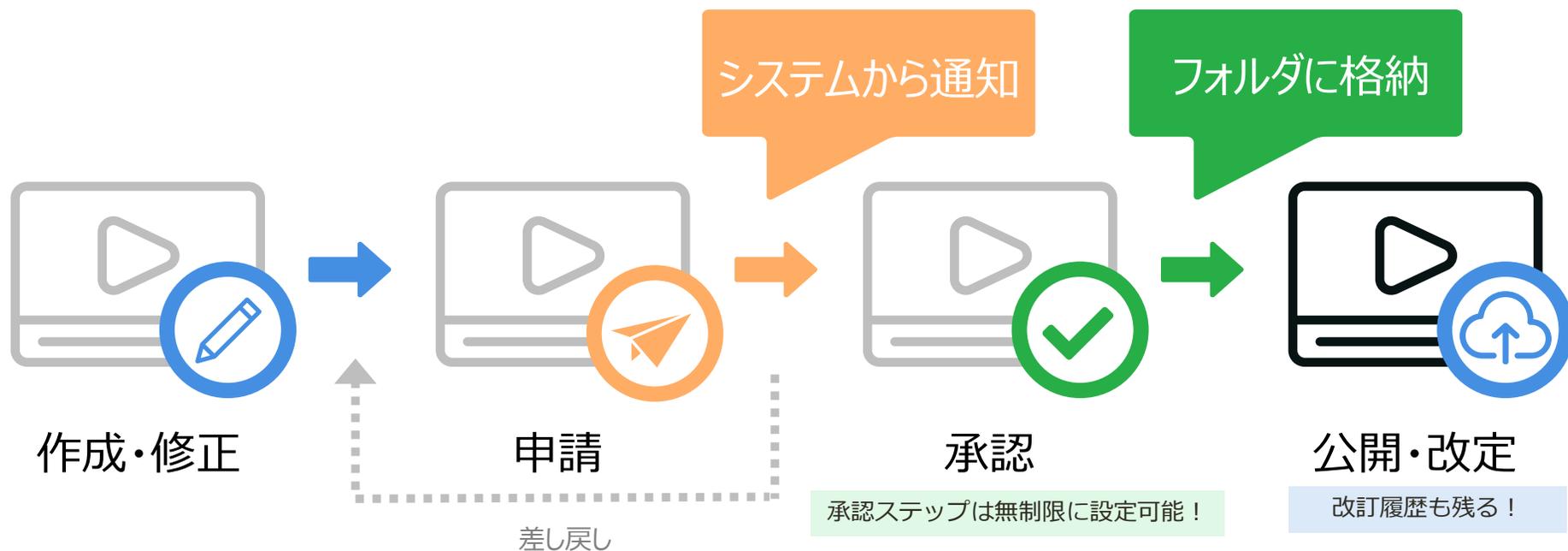
- 現場の3次元データで現場の様子を直感的に理解できる。
- Scaniverseなど3Dスキャンアプリからのデータが使える

DX推進を支える機能群



承認フロー・改訂履歴管理・アクセス制限

- 作成する手順書はフォルダに格納して管理
- フォルダ毎に承認フローを設定し、安心して最新版を運用
- フォルダ毎にアクセス制限を設定でき、セキュアに運用



大切なデータを安心のセキュリティで守ります



MSCB-113

ISO/IEC 27001 : 2022 (ISMS)
に準拠した組織・サービス体制



GIJP-1469-IC
ISO/IEC 27001:2022



信頼性の高いデータセンター
でフルマネージド管理



IPアドレス制限設定



アクセスログ



シングルサインオン (sso)



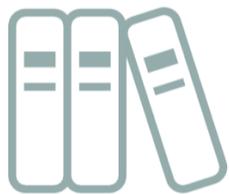
安心のデータバックアップ



柔軟なアクセスコントロール

セキュリティへの取り組みについては[こちら](#)を参照。
経済産業省が公開している「クラウドサービスレベルのチェックリスト」に準拠したセキュリティチェックシートも提供しています。

その他



既存の手順書も管理可能。これまで管理しきれていなかったこれまでの教育資料を一元化。ペーパーレスを推進。



PDFや画像を手順書のステップとして使用可能。動画内への画像挿入もできるので、よりわかりやすくできる。。



手順書に直接アクセスできるQRコードを印刷可能。現場での手順書アクセスを簡単に。



外部共有をセキュアに運用可能。観覧時アカウント不要でアクセスできる期限付きのURLが発行可能。
* 不要であればセキュリティ設定で無効可。



オフライン動作をサポート。スマホアプリの場合、開いたことがある手順書であれば、インターネットがなくても観覧が可能。



遠隔支援機能も搭載。ビデオ通話機能をつけて、現場を遠くからサポートできる。



強み

なぜDiveが選ばれるのか



機能がシンプルで手間がかからない→現場が使ってくれる

開発者が現場作業系事業者様の現場に入り込み、共創・オープンイノベーションを通して機能を洗練してきました

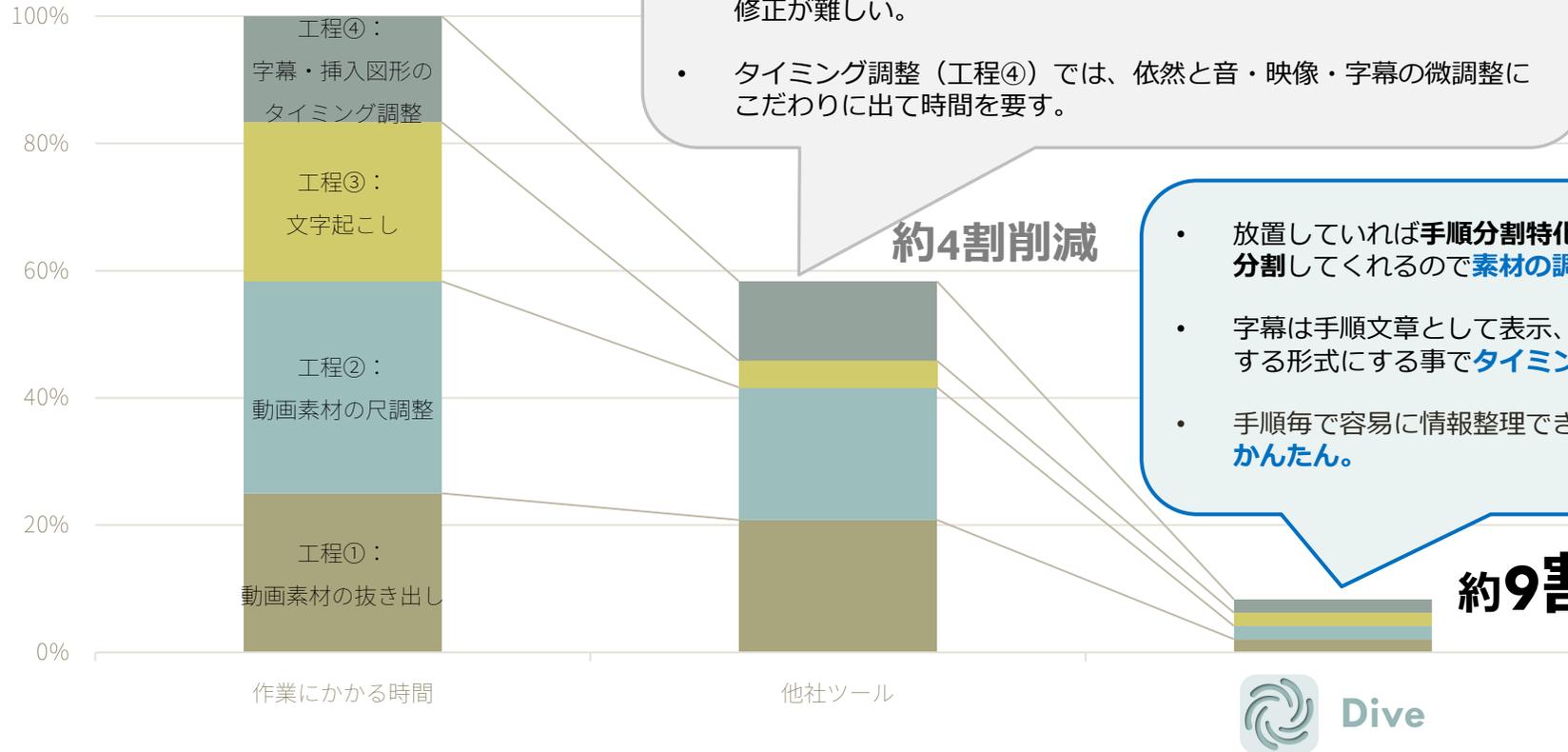


他サービスとの違い

Diveは、現場の限られた時間の中で動画素材をフル活用し、直観的な手順書拡充・教育しやすい

	Dive	オフィス系ソフト	手順書ツール	動画マニュアルツール	AR系ツール
形式知化の容易さ	◎ 手順分割特化型AI・動画編集機能でスムーズ	✗ 構造定義を都度する必要があり大変	○ 手順毎に情報整理できる	△ 自由度が高いため、センスが求められる	✗ 使いこなすには高度なITスキルが求められる
独立立ち機会創出の容易さ	◎ 手順毎に作業実施に加え、手順毎のチェックを促せる	✗ 文字中心になりがちで理解しにくい	○ 手順毎に作業を実施できる	△ 手順毎にわかれていない	○ 遠隔支援でつきっきりを無くせる
動画素材の活用	◎ 動画からの代表画像抽出でPDF活用工数を最小限	✗ 別途画像ファイル用意	○ 動画から画像ファイルを手動抽出できる	△ 動画としてのみが前提	✗ 考慮なし
現場を感じながらのコンテンツ	◎ ARを活用することで無理なく情報確認	✗ 都度、読み手が脳内補完する必要がある	✗ 各手順で、読み手が脳内補完する	✗ 都度、読み手が脳内補完する必要がある	○ 直観的に情報確認できるが、デバイス制約が高い

類似ツールとの比較



- AI適用による文字起こし（工程③）の大幅削減。
- 素材の調整（工程①②）は、依然と手間かかる。
→とりかかりでの壁が高く、高いモチベーション維持が必用。
→長尺動画になりがちで、手順書として使いにくい。改訂での部分修正が難しい。
- タイミング調整（工程④）では、依然と音・映像・字幕の微調整にこだわりの時間を出す。

- 放置していれば手順分割特化のAIが音声、動きを元に手順分割してくれるので素材の調整（工程①②）が大幅に削減。
- 字幕は手順文章として表示、図形挿入は一時停止時表示とする形式にする事でタイミング調整（工程④）を簡略化。
- 手順毎で容易に情報整理できるので、改訂時の部分修正がかんたん。

現場向け動画マニュアル作成・改訂の手間を大幅に低減できる

導入後のサポートが手厚い

無償

■ 導入直後の対面オンボーディング

- 2時間程度を使い、御社に出向いてキーマンへ商品説明・システム使用練習
- 場所によっては、旅費を請求させていただきます

■ 継続的なオンラインサポート

- 月に1回（1時間）の相談会をご提案
- 定期的なウェビナー、メルマガ配信
- 随時、メールベースのサポート

有償

■ 手順分割サポート

- お客様の代わりに指定した素材の手順分割を実施。

■ 都度/定期的な対面サポート

- お客様のニーズに沿って、都度（または定期的）な対面でのレクチャーや手順書作成代行を実施

「ハンズフリー」「AR活用」を見据えたDXを開始できる



デバイス導入戦略に沿った効果的な手順書運用を開始できる

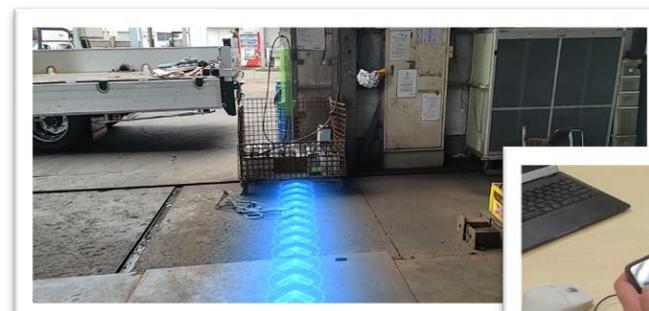
導入事例



事例：三木資源株式会社

- 業種：リサイクル
- 従業員数：37名
- 売上高：9億円
- 活用：事業継続のためのナレッジマネジメント

形式知化を熟練者自ら行う事で作成工数を **75%削減**



- 多能工化を目指すべく標準作業手順書を拡充したくとも、**ノウハウをもつ熟練者がPCスキルがないので、手軽に暗黙知を形式知化する手段を取り入れたい。**
- 事務スタッフの力を借りて、インタビューベースで作成を試みるものの、**暗黙知を形式知化する事を含めた文書作成完了まで4時間/個かかるため、継続断念。**

DX

- 形式知化が容易な動画を活用し、かつ**手順分割に特化した動画編集機能・AIを実施できるため現場熟練者自らがマニュアル作成をする事ができ、全体作成工数を75%削減**できた。
- ARを使うことで、部品の置き場所や、廃棄場所を直観的に表現、案内する事ができるので、人員の多能工化した際の壁を下げる試みを推進。

事例：相鉄企業株式会社

- 業種：ビルメンテナンス
- 従業員数：2008名
- 売上高：169億円
- 活用場面：応援者へのOJT、日々の点検

“使われる” 動画マニュアルの作成時間を**80%削減**



- 別営業所から応援がくるたびに現場案内など必要であり、OJTとして丁寧に教えてあげないといけないので、即戦力化するまでに時間がかかるのが課題であった。
- 動画マニュアル運用による解決を試みたが、**編集時間に5時間/個を要した。また、動画が長いこともありほとんど利用されなかった。**業務の隙間時間で気軽に作れ、かつ活用されやすい仕組みを構築したい。

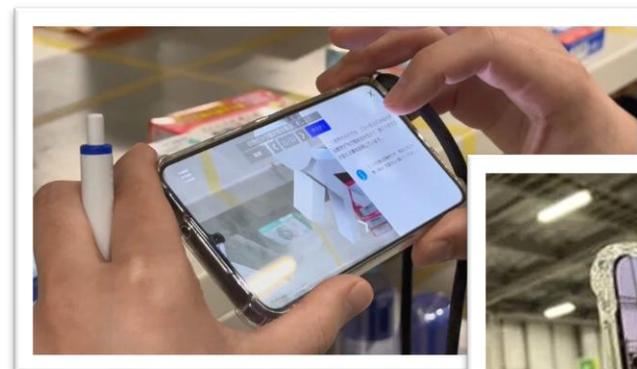
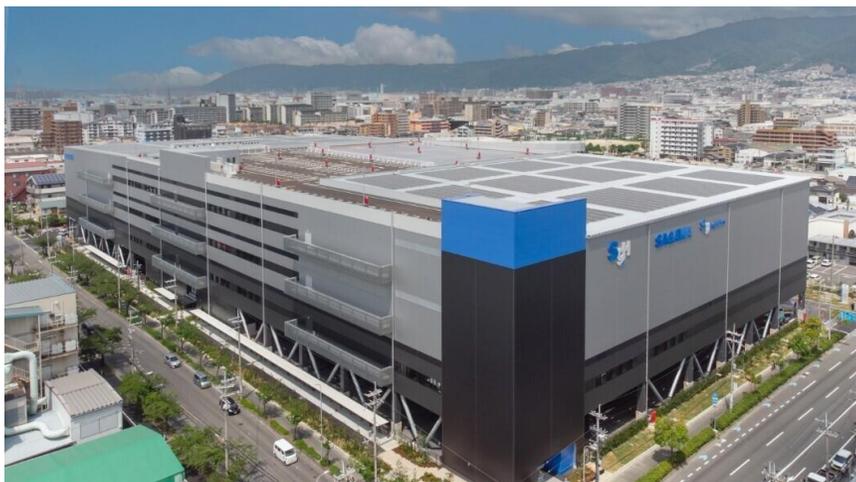
DX

- **同等の教育効果が狙える動画マニュアルの作成を1時間/個 (=80%削減)** する事ができた。また、作成マニュアルは手順ステップで表現されるので、**現場作業中に観覧しやすいことから、しっかり活用推進**ができた。
- 現場に出る前に、点検場所の形状を理解できるため、危険場所での作業時間の短縮につながった。

事例：佐川グローバルロジスティクス株式会社

- 業種：物流
- 従業員数：7,665名
- 売上高：765億円
- 活用場面：パートタイマーへの初期教育

毎日実施するパートタイマー向け初期教育工数を**90%削減**



- 現場毎で運用方法が異なるので全社で教育マニュアルを共通化する事が難い。パートタイマー向け教育において文章ではなかなか覚えられないので、**教育は現場社員が都度対面で起こっており、工数圧迫が課題。**
- 対応者や忙しさ、タイミングにより、教育内容が異なり教育の品質が安定しないので、標準化を行いたい。

DX

- 今までの対人での説明内容をそのまま動画で撮影、手順書化することを実施。**これまでと同等の教育効果を維持しつつも現場社員に教育工数を90%削減。**
- 現場毎で運用可能なシンプルな編集機能のため、現場毎の教育マニュアル作成体制を推進。

価格・検討の始め方



価格

- ・サブスクの提供。初期費用なし。
- ・標準プランは、月あたり5万円/50アカウント
- ・手順書数、容量は無制限

■オプション

- アカウント追加 : 月あたり1万円/10アカウント
- 都度/定期的な対面サポート : 5万円/回 (2~3時間) + 旅費

プラン毎の機能差異等の詳細は[こちら](#)からご確認ください。

サブスク終了後の取り扱い

仮にサブスク継続をご希望されない場合でも、引き続き作成した手順書を利用することができます。

引き続き利用できる機能	利用できなくなる機能（有料機能）
<ul style="list-style-type: none">動画手順書の観覧アカウントの利用履歴確認オーナー向け機能	<ul style="list-style-type: none">手順書の作成、編集、削除フォルダの作成、編集、削除素材の追加、削除アカウント管理遠隔支援機能動画ファイル出力 など

※有料機能を利用する際、再度サブスク契約が必要です。

アカウントの考え方

- ・アカウントはメールアドレスに紐づきます。
- ・アカウントはチームという単位でグルーピングできます。
- ・フォルダのアクセス制限は、チーム単位で制御できます。

■ よくあるご質問

Q : 複数の人が1つのアカウントを利用できるか

A : セキュリティの観点から一般的に推奨はできませんが、契約上ご利用いただけます。
ただし、同時利用はできないのでご注意ください。

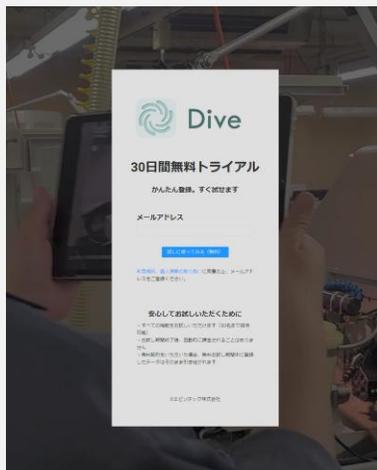
Q : 複数の法人がまたがって利用してよいか（グループ会社で利用する、等）

A : はい。問題ございません。ただし、アクセス制限設定・アカウント管理が煩雑になる事が想定されるので、法人ごとの個別契約を推奨します。

導入検討の始め方

まずは触ってみましょう

30日間無料トライアル



申し込み、設定はWebで
完結。5分で試用開始！

申し込みページはこちら
[https://dive-
dashboard.vercel.app/signup](https://dive-dashboard.vercel.app/signup)

まずは相談してみましょう

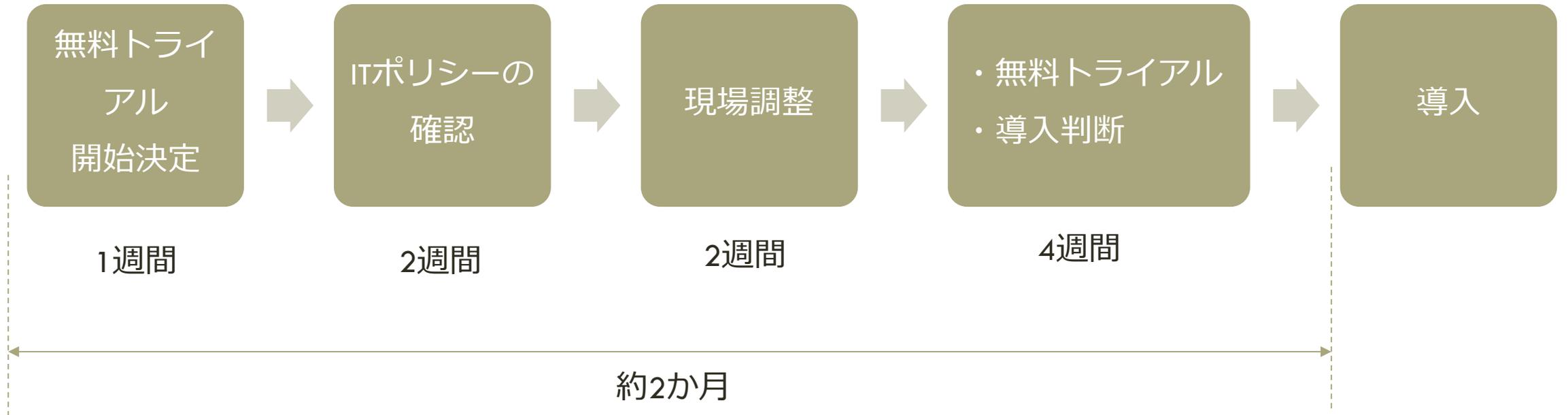
オンライン相談会



日程調整ページより
ご都合の良い時間を指定！

申し込みページはこちら
[https://divedx.com/meetings/episotech/
product-introduction](https://divedx.com/meetings/episotech/product-introduction)

導入までの流れと期間目安



とりあえず撮影して
アップロードしておけばいい

この手軽さが
技術伝承を自然に加速させます

多様な人材が活躍する基盤をつくる



<https://www.episotech.com/>

参考情報

作成フロー



基本的な作成フロー

基本的にはPCのWebアプリで行います。AR手順書についてはスマホで行います。
※動画編集は現在、スマホではできません。

■ 動画手順書



■ AR手順書



アップロードする動画について

1. UIが横でレイアウトされるので横向き動画を推奨します。
2. AIの動画手順書分割をフル活用するために下記のように撮影した動画をご用意することを推奨します。
 - 解説を入れながら撮影する
 - 「人の動き」を認識させたい場合、人全体の80%以上が見える画角で撮影する（右図参照）
 - 「手もとの動き」を認識させたい場合、主観映像で撮影する



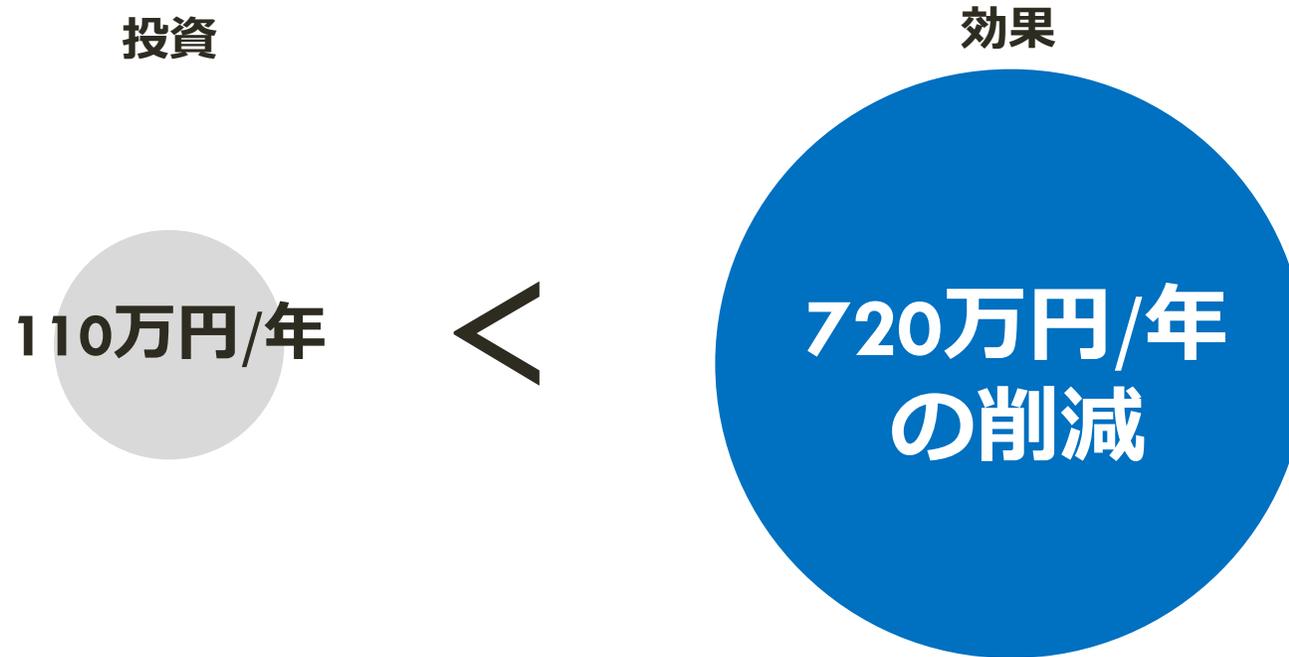
- ※ 手元の動画の場合、動きによる分割が行われにくくなるので解説を入れるのを推奨します。
- ※ 一回のアップロードファイル容量制限は1GB以下です（目安：スマホ撮影動画の標準画質なら、15~25分程度）。
- ※ 10分以上の動画はアップロード時にファイル分割がされます。AIの処理が分かれてしまうので、1本あたり10分未満を推奨します。
- ※ mp4, ,mov, .aviなど、幅広い動画ファイルフォーマットに対応しています。

投資対効果



投資対効果（試算）

Diveによって、「新人スタッフが新しいことを覚えるのに時間がかかる」が解決されたとき、下記の投資対効果が見込めます。



価値 新人スタッフから教育者に対する質問が減り、教育者が割く工数を削減

試算 お客様自身の内製人件費含めても、**約7倍の投資対効果**

試算条件

■効果

年間720万円の削減

～計算条件～

- 月に4回、新人スタッフから質問が発生。新人スタッフ1人に対し、各回で教育者の工数を1時間使う。
- 上記質問をする新人スタッフは、1チームに3人いる。
- 組織全体で10チームで、上記状態が発生している。
- スタッフの入れかわりもあり、年間恒常的に発生している。
- 教育者の工数単価は、5,000円/日。

■費用

年間110万円（お客様自身の内製人件費含めた金額）

～計算条件～

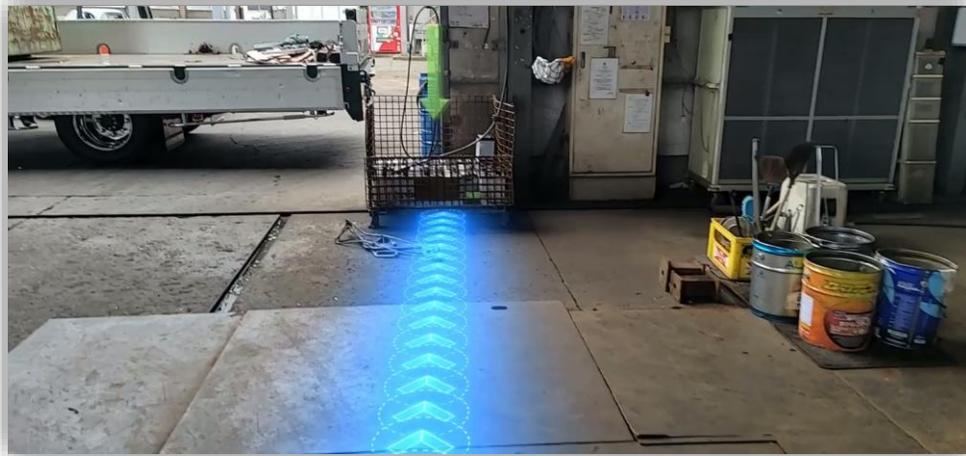
- Diveライセンス費は60万円/年。
- 教育者（手順書作成者）のマニュアル1つあたりの作成・維持工数は、1時間/年。
- 手順書は組織全体で100個作成・維持する。
- 教育者（手順書作成者）の工数単価は、5,000円/日。

AR機能の詳細



作成できるARコンテンツ特徴

作成した手順書のコンテンツは空間認識AR (Augmented Reality : 拡張現実) で現場空間へ直接マッピングできます。動画を見るべき場所へ明示的に誘導したり、ARオブジェクトで現場情報補完をする事ができるため、**作業者の現場での理解促進を強化**することができます。



※ARの中でも特に最新技術であるVPS(ビジュアル・ポジショニング・システム) 技術を採用しています。
位置ずれの最小化・現場へのQRコードやARマーカー等の印刷物を配置不要を実現しています。
※オプション適用で、一部スマートグラスでも観覧可能です。

高度なARなのにノーコード



- ARコンテンツ作成は、**ノーコードでスマホのみですぐ作成**できます。
- 作成者はスマホ越しに現場を見ながら、スマホ上のタップ操作で図形・音声・動画・画像・テキスト・ブラウザ・ナビゲーションをあたかも**「置く」感覚で直観的に作成**できます。

競合比較

	Dive	Worklink (アメリカ)	Vuforia Work Instructions (アメリカ)	Misterine Studio (チェコ)	Meister AR Suite (日本)
想定作成環境	現場でスマホ	オフィスでPC	オフィスでPC	オフィスでPC	オフィスでPC
作成想定ユーザー	現場で働く方	CGエンジニア	CGエンジニア	CGエンジニア	現場で働く方
空間紐づけAR	◎ (AndroidもOK)	○	○	×	×
スマートグラス対応	◎ (8種類以上対応)	○	○	×	×
価格 (年)	60万円～	250万円～ (予想)	250万円～ (予想)	100万円～	60万円～

「現場ユーザーが気軽に」 「高度なARコンテンツを」 運用できる

スマートグラス・ARグラス利用について

作成した手順書はスマホだけでなく、スマートグラスでも使用可能。作業者は、スマホアプリで表示したコードをグラスのカメラから読み取ることで、すぐ手順書を開くことができます。



INMO Air2



dynaEdge XR1



Vuzix M400



Vuzix M4000



XREAL Air 2 Ultra



RealWear Navigator



RayNeo X2



J7EF



HoloLens 2



XrealLight



ThinkReality A3

過去にサポートしていたデバイス



※あらかじめPCから
QRコードを印刷しておくことも可能

スマートグラス・ARグラスでのARコンテンツ表示

- ・ スマホで構築したARコンテンツをハンズフリーで見れる。
- ・ 位置合わせは手動（前回の主導調整結果は保存される機能あり）

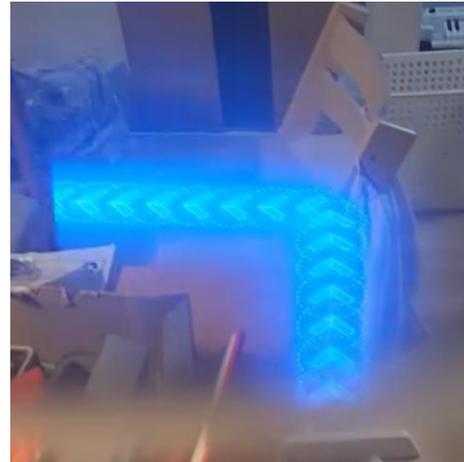
対応デバイス



Xrealシリーズ



[dynaEdge XR1](#)



グラス越しに見えるARコンテンツ（6DoF対応デバイス）

<https://www.youtube.com/shorts/qz59WHvL7PU>

デジタルツイン機能



Scaniverse等のアプリから得られる現場スキャンデータを取り込み、手順書のコンテンツをスキャンデータへマッピングできます。

デジタルツインをつかった教育を可能にし、**現場に行く前の作業内容理解を向上**させることができます。

構築した空間認識AR情報と連携できるため、現場で構築したコンテンツをオフィスでも確認ができます。

動画マニュアルツールとの 違い詳細



一般的な動画マニュアル作成ツールとの違い

Diveは動画を手順書として使い、**目の前の作業の品質を一定化することに直接アプローチしている**ことが大きな違いです。

項目	動画マニュアル作成ツール	Dive
設計思想	動画使用に特化したe-ラーニングシステム。 そのe-ラーニングシステムを現場スタッフが運用できる。	現場で参照 しながら見ることを想定した動画手順書システム。 その手順書システムを現場スタッフが運用できる。
教育コンセプト	事前にしっかり覚える	作業しながら覚える
マニュアル使用 タイミング	OJT時の補足使用、事前教育、作業前	OJT時の補足使用、 作業中
動画編集機能の 方向性	YouTubeでみるような動画を簡単操作で作成できる	簡単に 動画を手順毎に分割 ・作業名を割り付けられる
付随機能の 方向性	<ul style="list-style-type: none">• いかに対象者がマニュアル観覧を推進するか• どのように教育するか• いかにかんたなときでもマニュアルを見れるようにするか	<ul style="list-style-type: none">• いかにか作業中にリアルタイムに必要な情報を提供できるか• いかにか手順書通りに作業できるか• いかにか現場で素早く手順書にアクセスできるか